



市之倉だより

多治見市立 市之倉小学校 令和4年7月

〒507-0814 多治見市市之倉町 10-381

TEL 0572-22-3702 ホームページ <http://school.city.tajimi.lg.jp/ichinokura/>

「わたしの主張 多治見大会」で市之倉地区代表として優秀賞を受賞した6年生の渡辺汐音さんの主張「私の中のあたりまえ 相手の中のあたりまえ」の一部です。

辞書で調べてみると、「あたりまえ」とは、『だれが考えてもそうであるべきだと思うこと』だそうです。では、「みなさんが考えるあたりまえ」は、本当に「あたりまえ」なことですか。(中略)自分が「あたりまえ」だと思っていることでも、相手はそうではない。そう考えていくと、「本当にあたりまえなこと」なんて、ないのではないかと思います。



渡辺さんの主張を聞いて、「あたりまえ」を改めて問い直しています。皆さんの「あたりまえ」は何ですか。

「何度でも挑戦できる環境」 = 「失敗させてくれる環境」

「水たまりがあるから、よけて通りなさい。」

子どもが失敗(挑戦)を避けられるように、つつい、先回りして声をかけていることはありませんか。もちろん、命に関わる危険なことは先回りして教える必要があります。

「車が通るから、端を歩きなさい。」

そう伝えるのは、大人の役割の一つです。

水たまりに入って、服や靴をビシャビシャにした経験はありませんか。靴が濡れたときの感覚や、服が濡れて肌にくっつく感覚は、濡れるから分かることです。

中学校時代、学校の玄関のガラスを軽い気持ちで蹴ったら、ガラスが割れました。そのとき、丈夫なガラスも蹴れば割れること、人の物を壊したら責任をとることを実感しました。

失敗(挑戦)こそ、学びのチャンスです。

失敗(挑戦)を乗り越える(する)ほどに、失敗(挑戦)に対する耐性が身に付きます。

失敗(挑戦)を繰り返すほどに、よりよい方法を見つけることができます。

Ⅱ期の目標は、「自分に挑戦 ～自分の目標に向かって最後までやりきろう～」です。

子ども達が、自分の目標に向かって安心して挑戦できるために、学校は、子ども達にとって、失敗させてくれる環境でありたいと思っています。そして、家庭や地域もそうであるといいと願っています。

♪ 正しいより 楽しい 正しいより 面白い
やりたかったこと やってみよう 失敗も思い出
はじめよう やってみよう 誰でも最初は 初心者なんだから
やったことないことも やってみよう 苦手な相手とも 話してみよう
知らなかったこと 見たことないもの あたらしい 楽しい ♪



WANIMA「やってみよう」

☆☆ マスクの着用について ☆☆

初夏を迎え、熱中症が心配される季節となりました。熱中症対策を優先させ、コロナ予防も考えながら、登下校時にはマスク外す指導をしています。ご承知おください。よろしく申し上げます。